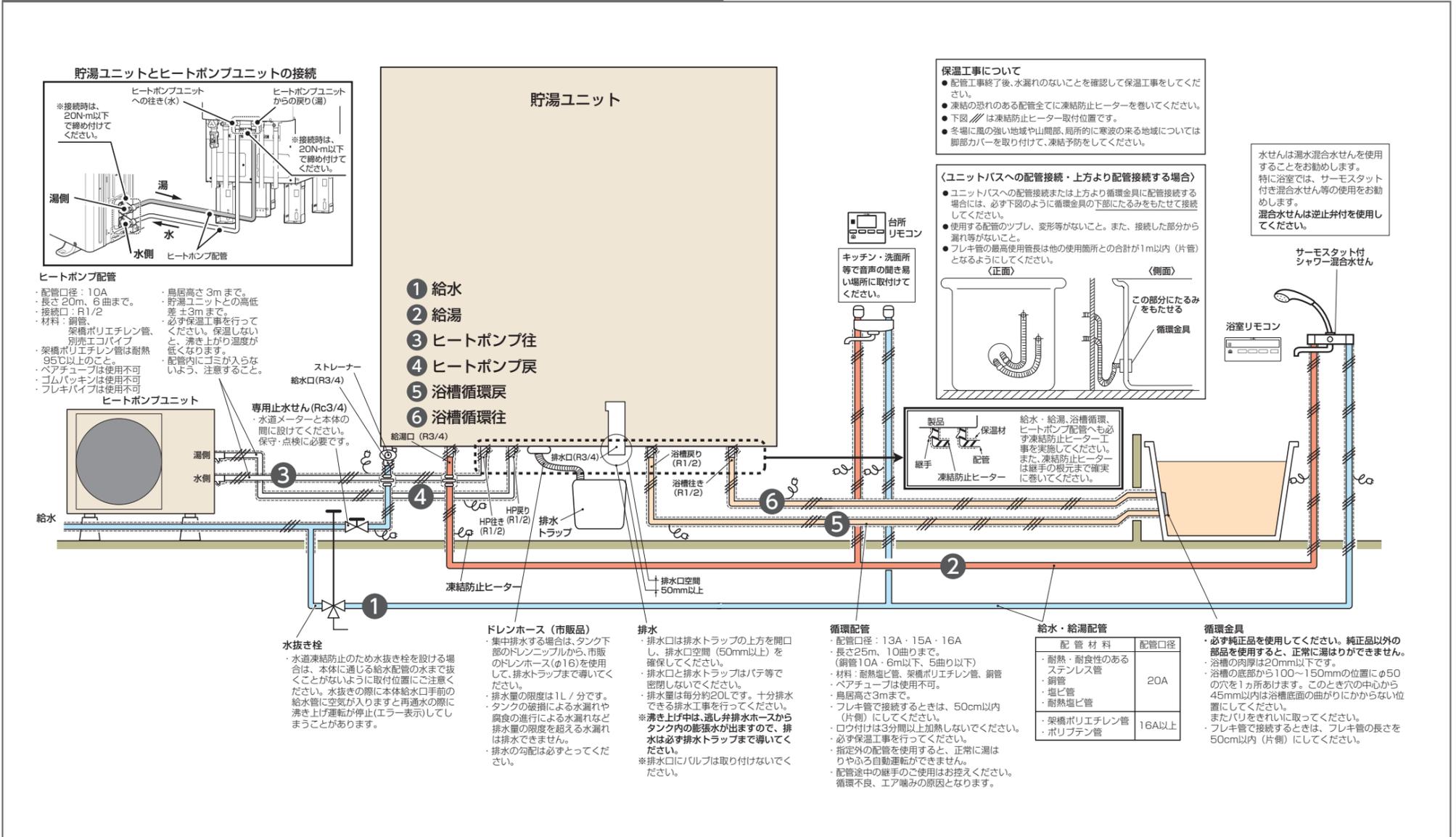


配管工事例

機器を設置する床面には必ず防水処理・排水処理を行ってください。

フルオートタイプ(薄型オーバルスリム)の場合



排水配管工事

●排水は、排水口からエルボなどで延長し、排水口や排水ホッパーに導いて排水してください。

そのまま床面に排水させると逃し弁から出るお湯の蒸気が製品内で結露し、製品故障の原因となります。

●排水管は熱いお湯が流れることがありますので、耐熱性のある管を使用してください。また、途中で防臭・湯気の逆流防止のために排水トラップを設けてください。

●排水経路には必ず50mm以上の吐水口空間を設けてください。

●排水時に水が飛散しないよう排水の出口と受け側の排水ホッパーの中心位置を合わせてください。

●排水口からの延長配管が長いと凍結や排水時間が長くなる場合があります。また、排水口から、直接下方へ延長するとタンクが負圧になり破損の原因になりますので、排水ホッパーを使って間接排水にしてください。

●排水口および延長配管、排水配管は止水栓やパテなどでふさがないようにしてください。膨張水の排水を妨げますと製品故障の原因になります。

●排水経路に排水トラップを設けるか、排水トラップ付きの排水ホッパーを使用してください。排水トラップがないと下水ガスや蒸気の逆流による腐食や製品故障の原因になります。

●架橋ポリエチレン管、被覆材は、太陽光が当たると紫外線により劣化します。配管接続部などが、露出しないようにしてください。

●各配管は、つぶれや折れ曲がりないように施工してください。また、配管内部に異物(小石など)が入らないように接続するまで先端を保護してください。

